

大阪府立都島第二工業高等学校・大阪府立都島工業高等学校 定時制の課程

令和4年度学校教育自己診断アンケート分析

生徒回収率：	都島第二工業 64% (35 件)	都島工業 (定) 55% (6 件)
保護者回収率：	都島第二工業 40% (22 件)	都島工業 (定) 82% (9 件)

生徒と保護者からの更なる回収率を上げる工夫が必要であり、家庭との連携を強化する必要がある。

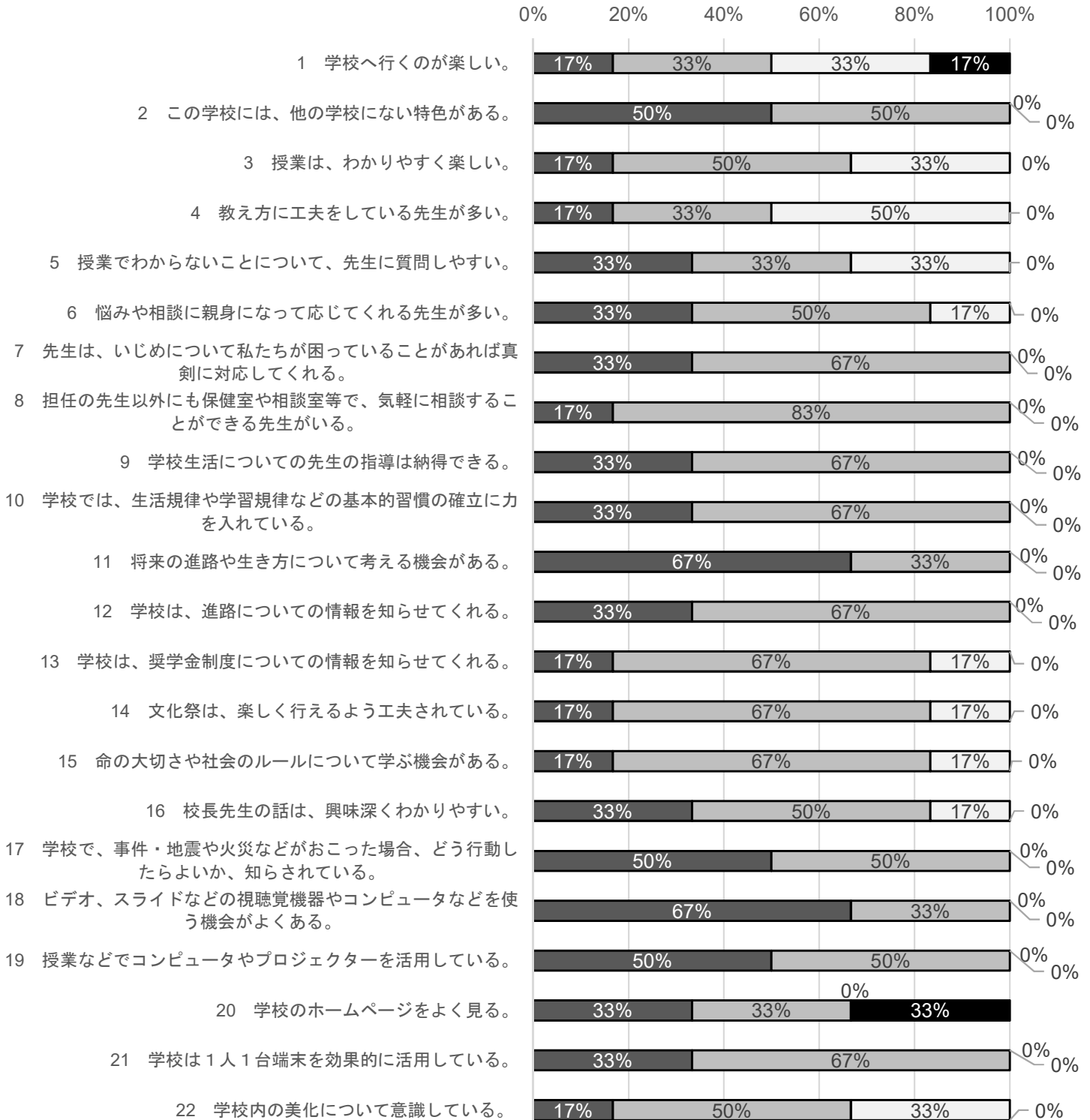
【学習指導】

- 保護者からはすべての項目において高い評価をいただいた。
- 生徒「教え方に工夫をしている先生が多い」・「学校は1人1台端末を効果的に活用している」の評価が高くない。
- 「ビデオ・スライドなどの視聴覚機器やコンピュータなどを使う機会がよくある」・「授業などでコンピュータやプロジェクターを活用している」が高く、授業のICT化が進んでいる。
- 工業系列における実習など1人1台端末を活用しづらい授業もあるが、効果的に活用できるよう工夫していく必要がある。
- 「いじめについての対応」・「担任以外の先生に気軽に相談できる」・「悩みや相談に親身になって応じてくれる先生がいる」について生徒・保護者ともに比較的高く評価されている。しかしながら、低く評価している生徒もおり、教育相談等の体制やSSW・SC等との連携をより強くしていく必要がある。

【学校経営】

- 教員の「情報提供の手段として、学校のホームページが活用されている。」・「教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。」が高い反面、「学校のホームページをよく見る」の回答が生徒・保護者ともに大変低い。学校からの情報提供を周知するためにも学校ホームページをみてもらうよう啓発するとともに、内容について拡充していく必要がある。
- 「この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある」が低く、保護者の方に日ごろの学校活動に興味を持ってもらうために参加しやすい行事等を考える必要がある。

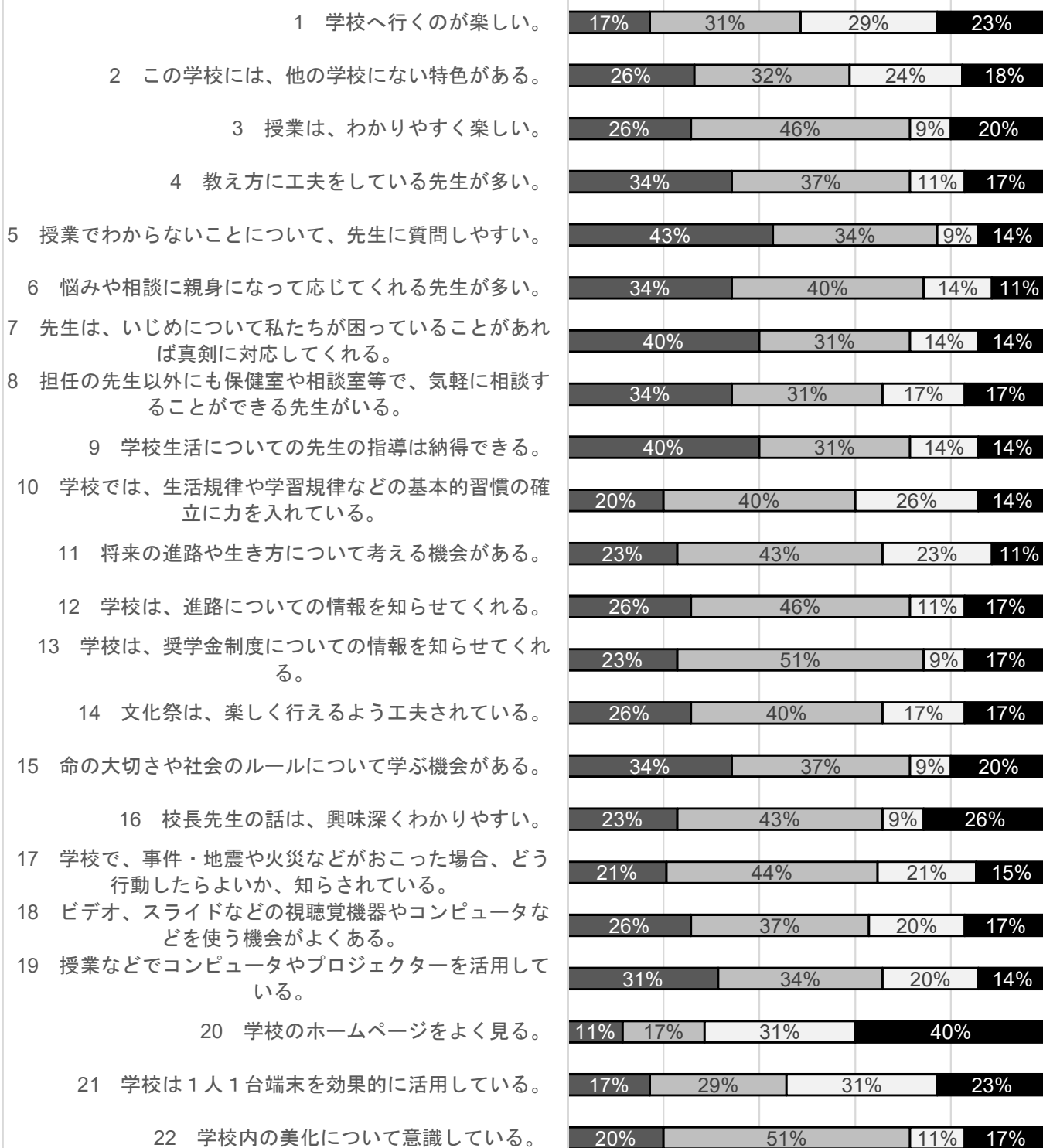
令和4年度 学校教育自己診断【生徒】：都島工業（定時制の課程）



よくあてはまる
 ややあてはまる
 あまりあてはまらない
 まったくあてはまらない

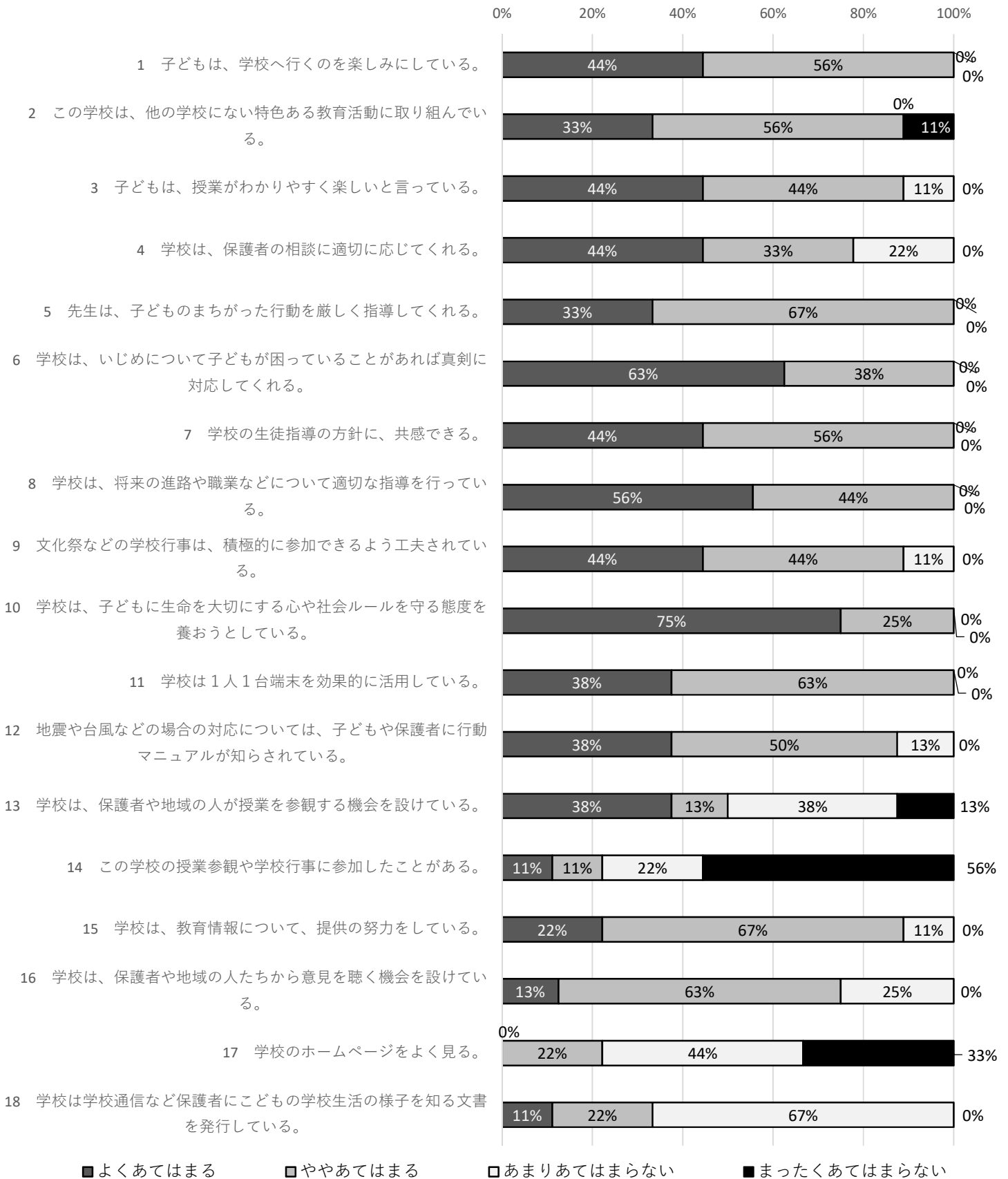
令和4年度 学校教育自己診断【生徒】：都島第二工業

0% 20% 40% 60% 80% 100%



よくあてはまる
 ややあてはまる
 あまりあてはまらない
 まったくあてはまらない

令和4年度 学校教育自己診断【保護者】：都島工業（定時制の課程）



令和4年度 学校教育自己診断【保護者】：都島第二工業

